



全国学力・学習状況調査結果を受けて(その2)

報告書を踏まえた小学校国語の指導改善のポイント

今号では、説明的な文章における指導のポイントと授業アイデア例を紹介します。国立教育政策研究所のHPに記載されている「報告書」と合わせて、国語指導の充実の参考にしてください。

関連する設問「3 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる(言葉の変化)」二(2)

出題の趣旨

事実と感想、意見などとの関係について、
叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて
要旨を把握することができるかどうかをみる。

主な解答類型と反応率

※単位：%

(正答)

解答類型	岡山県	全国
1と解答	49.7	51.5
2と解答	16.0	14.5
3と解答	27.2	26.5
4と解答	5.0	4.7

指導のポイント

- 【木村さんのメモ】のように事実や意見をまとめ、要旨を把握できるよう指導する。
- 文章全体の構成を捉えて、要旨を把握する必要性を感じられるように、**活動の目的を明確にする。**

授業アイデア例「言葉の変化について調べ、分かったことをもとに、自分の考えをまとめよう」

学習の流れ

学習のめあて 主な学習活動

言葉の変化について複数の資料を読む

- ① 「言葉の変化について自分の考えをまとめる」という学習の見通しをもつ。
- ② 学級全体で言葉の変化について書かれた【資料1】を読む。
- ③ 【資料1】を読み、自分が疑問や興味をもったことについての情報を集め、要旨を捉える。
- ④ 文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を明確にして読む。
- ⑤ 調べて分かったことを基に自分の考えをまとめる。

「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」という文が、理解しづらかったんだ。きっと、言葉の変化のせいで、コミュニケーションがとれなくなっているという意味だと思うけれど、具体的にどんな言葉で食い違いが起きるのか知りたいな。

田中さん

そういえば、ひいおばあちゃんが「かわやはどこ。」と聞いたことがあったなあ。ぼくが「かわやって何。」とたずねたら、お父さんは「便所のことだよ。」と教えてくれたなあ。ぼくはトイレって言うんだだけな。だから、【資料1】の「言葉は年月とともに変化していくもの」をもっと詳しく調べたいと思ったよ。

木村さん

うーん。ぼくは「言葉は生きている」という文が気になったよ。

森さん

田中さんや木村さんのように、疑問や興味を明確にもち、必要な情報を集めようとしている児童がいる一方で、森さんのように、**文章を漠然と読み、疑問や興味をもちにくい児童**がいることも予想されます。

以下に、**疑問や興味をもち、読む目的を明確にする手立ての一例**を紹介します。詳細については、国立教育政策研究所のHPに掲載されている報告書(右下写真)をご覧ください。

「報告書」に掲載されている手立ての例

キーワードに着目する

「なぜこの言葉が使われているのだろう」、「どういう意味なんだろう」など曖昧な言葉をはっきりさせるようにする。



言葉は生きているとは、例えば、ということだろう。

確かに。説明しようとしたら、難しいかもしれない。ぼくは「言葉が生きているとはどういうことなのだろう」ということについて調べてみようかな。



全国学力調査 報告書

令和7年度
全国学力・学習状況調査
報告書児童生徒一人一人の学力・学習状況に
対応した学習指導の充実 実現に向けて
小学校 国語授業アイデア例
掲載

Copyright © 2025 NIER. All rights reserved.